



2020・7・1

第 378 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 野党共闘ささえ、改憲反対署名さらに

### 国民の声が政治変えるを確信し

【愛知県／「安倍 9 条改憲 NO! あいち市民アクション」】「あいち市民アクション」は 6 月 28 日、名古屋市内で、座席の間隔を開けるなど新型コロナウイルス感染防止策を取って集会を開き「火事場泥棒的な改憲を許さず、改憲ノーの署名をさらに広げよう」と訴えました。立憲民主党の近藤昭一衆院議員、国民民主党の牧義夫衆院議員、日本共産党の本村伸子衆院議員が参加。社民党の福島瑞穂参院議員がメッセージを寄せました。

あいち市民アクション事務局長の中谷雄二弁護士が基調報告し、コロナ禍でも安倍首相は改憲に執念を燃やし「緊急事態に乗じて火事場泥棒的に憲法改正を提案しようとしている」と指摘。3000 万人署名以来、憲法改正反対の署名は累計で 80 万 2049 人分（25 日現在）集まっているとして「安倍政権が憲法改正を狙っている以上、反対の署名を集めよう」と訴えました。

参加した野党代表からは、「市民と野党が力を合わせて自民党の改憲提案をこの半年間阻止してきた」「この国会は声をあげ

### 予算化めざす敵基地攻撃論議

国会における改憲論議がすすまず、イージス配備中止にいらだっている安倍首相は 19 日の記者会見で、敵基地攻撃能力の保有について検討に入ることを表明。24 日には国家安全保障会議（NSC）の 4 大臣会合（首相、麻生財務相、菅官房長官、茂木外相、河野防衛相）を開き、9 月末をメドに一定の結論を出し、来年度予算に反映させるとしています。

最近では、弾道ミサイルの迎撃は憲法上可能かをめぐって議論がおこなわれ、政府は、①武力攻撃の恐れだけではたりないが、実際の侵害発生は不要②武力攻撃の着手時点は国際情勢、相手国の明示された意図、等により判断する③発射後の弾道ミサイルについては確度が高くなくとも迎撃でき、との見解を示しています（03 年 1 月衆院予算委、法制局長官等）。

れば政治はかえられることを国民の確信にした」と激励のあいさつをしました。

参加者は「『選挙で政治を変えよう』『憲法9条を守ろう』と訴える取り組みを強めたい」「野党への投票を広げていくためチラシを作成する予定だ」などと発言。愛知憲法会議の高橋悟代表委員は「地域から『市民と野党の共闘』の声を大にしていこう」と呼びかけました。

## 万全のコロナ対策し活動再開

**【奈良県広陵町／広陵9条の会】** 奈良広陵9条の会は、新型コロナ感染拡大などのため2月末から中断していた世話人会を6月14日に開催し、可能なところから活動を始めることを申し合わせ、先ず6月の19の日行動から始めることにしました。

9時50分集合、エコマミ2階通路でのスタンディング宣伝、ビラ配付と署名を計画していましたが、あいにく朝から雨が激しく、一旦8時45分に中止を決め連絡しましたが、その後雨が小降りになったため、再集合できた4人で、スタンディングとマイク宣伝、用意したビラの配付を行いました。（署名はできず）変則的な取り組みになりましたが、買い物客、通行人は思っていたよりたくさんあり、ビラの受け取りもよく、準備した50枚のビラは20分でなくなりました。「アメリカの兵器爆買はやめてコロナにまわせ」のアピールボードを見て近寄ってきて「で是非これをやってほしい」と言ってきた人がありました。

## 安倍政権への不満共有の思いこめ

**【札幌市厚別区／厚別9条の会・大谷地9条の会】** 札幌市厚別区の「厚別9条の会」と「大谷地9条の会」は14日、新札幌

駅前前で合同のスタンディングにとりくみ、安倍改憲反対署名を呼びかけました。

新型コロナで3ヵ月自粛を余儀なくされましたが、鈴木真道知事と続く安倍政権の「緊急事態宣言」が解除になり、「待ってました」と再開しました。

「3密」を避け安心して署名できるようにと署名用紙をテーブルの上に置き、消毒液も用意してよびかけ、ペンをとる人が相次ぎました。

訴えでは、安倍首相が施政方針演説で「憲法審査会を動かせ」と9条改憲に執念をみせたものの、自民党が改憲案を審査会に提示できなかったのは、国会内外での市民と野党の共闘の力だと強調しました。熱心に耳を傾け、拍手する人がいました。

参加者は「安倍政権への不満の高まりをどこかで共有したいとの思いが伝わってきたね」と話し合いました。

## 戦闘機購入よりも医療費充実を

**【岐阜県各務原市／九条の会・各務原】** 各務原市で19日、新型コロナの影響で中止していた九条の会・各務原が「戦争法廃止・9条守れ」の9の日行動を3ヵ月ぶりに再開、ボードを掲げてスタンディングを行いました。

雨の中、市役所前交差点に12人が参加し、「ありがとうコロナと闘う、医療に携わる総ての皆さま／政府は医療機関にもっと予算を」と書いた大型横断ボードを広げ、「防衛費削り、コロナ禍対策に」「戦闘機購入よりも医療費充実を」などのボードを掲げ、通行車両に大きく手を振りました。

代表世話人の伊藤敏明さん(74)は、「安倍政権の腐敗など見過ごすことができない。緊急事態宣言が解除され、タイミング良く再開できてよかった。これを契機に広げていきたい」と語りました。

## 安倍政権生んだ小選挙区制の批判も

青森市の駅前公園で行われた「19日行動」(主催・県九条の会)は、コロナ危機さなかの国会閉会や、河井前法相夫妻の公職選挙法違反容疑での逮捕など、次つぎと出てくる安倍政権の疑惑追及を求める怒りの声であふれました。

「アベ政治を許さない!」「1機116億円のF35戦闘機の爆買をやめ、コロナ対策へ」などのポスターを掲げて24人が参加。

短歌の会の仲間と参加した女性(76)は、「怒りを通り越して憤慨している。疑惑だらけの安倍首相は政治家と呼ぶべきじゃない。金で動く政治はもうまっぴらです」と声を荒らげました。

初めて参加した女性(65)は、安倍首相を「あれほど、ほんずね(常識もなく、どうしようもない)首相はいないね」とバッサリ。女性は安倍政権への怒りをさらに並べた後、「小選挙区制が、安倍政権を生み出したと思っている。選挙制度も変えたほうがいい」と語りました。

バス停から拍手を送った女性(80代)は、ぴんと背筋を伸ばし、「自民党は、安倍のふり見てわがふりを直さないと、国民から見放される。早く自覚を」と話しました。

## 検察庁法改悪案に反対し宣伝

【神奈川県厚木市／厚木市九条の会ネット

ワーク等】厚木市九条の会ネットワーク、厚木革新懇、安倍9条改憲反対!市民アクション厚木・愛川など平和を求める市民団体は6月18・19日、本厚木駅北口で、新型コロナウイルス対策もあり、声を出さない「サイレントスタンディング」で「検察庁法改正案の廃案と黒川検事長の定年延長閣議決定撤回」を求めて宣伝をしました。

両日であわせて41人が参加、それぞれが手作りの横断幕、ステッカーなどを持って無言で抗議行動中、「九条の会」への入会、「安倍9条改憲発議に反対する全国緊急署名」への協力もありました。18日の模様は翌日の朝日新聞16面に掲載されました。

法案の通常国家での採決を見送らせましたが、今後も法案の廃案と閣議決定の取り消しを求めて運動をすすめます。(小池康夫「厚木・九条の会」No164)

## オンラインでミーティング

【川崎市多摩区／生田9条の会】生田9条の会では5月16日と30日、インターネットのテレビ電話アプリを使ったミーティングを行いました。参加したのは運営委員の有志8人。操作は意外に簡単で、事前のリハーサルもありすぐに慣れることができました。自宅生活が続いて、顔を見ながらの話し合いが久しぶりだったこともあり、楽しいひと時を過ごしました。

議題はあらかじめ決めず、まずは近況報告と最近の情勢から、思いつくままに交流。後手に回る政策への批判、感染拡大で図らずも実現した少人数学級、混迷する時代で

の自身の任務自覚まで、活発な発言がとび交いました。

大方の感想は、オンラインの効用に気づいたこと。パソコンの前に座るだけで会議スタート。一つの場所に集まる手間と時間を省くことができるのは助かります。6月からは市民館など公共の会場も開くはずだが、オンラインミーティングはまた開催しよう、と決めて、みんなで手を振って「解散」しました。(笑)

(「生田 9 条の会ニュース」第 81 号)

## 沖縄の惨禍偲びつつ昼デモ

【和歌山県／憲法 9 条を守る和歌山弁護士会の会】 「沖縄慰霊の日」である 6 月 23 日、第 72 回ランチタイムデモ（「憲法 9 条を守る和歌山弁護士の会」呼びかけ）が行われ、60 人の市民が参加しました。

沖縄県でも弁護士をされていた藤井幹雄弁護士は、デモ出発に先立ち、「今日は 75 回目の沖縄慰霊の日でもある。当時 12 歳だった義父は、戦禍の中を歩き続け、姉を失い、母と離れ離れになった。母と再会したのは、のちに捕虜収容所においてであった。義父は認知症になった後も、『戦争だけはダメだ』と言い続けている。現在世界には、当時の沖縄と同じような状況の地域がいくつもある。その中で日本の果たすべき役割は、憲法 9 条を活かして平和を築くことではないか。武力をもって抑え込む方法が成功しないのは、歴史を見れば明らかだ」と話されました。

参加者は京橋プロムナードまで行進し、行進後、沖縄戦の犠牲者に黙祷をしました。

(「九条の会・わかやま」403 号)

## 思いを込め『15 年の歩み』発行

【大阪府摂津市／九条の会・摂津】 『九条の虹―「九条の会・摂津」15 年の歩み』ができあがりしました。

《第 178 世話人から》15 周年記念誌の取り組みについては、2020 年 3 月から検討を始め、4 月、5 月のコロナ自粛の間に、記録の整理・写真整理・関係者の文書依頼を行い、やっと編集することができました。印刷は、コロナ対策でてんてこまいの民商の印刷機をおかりし、世話人会のみなさんでやっと製本できたのは 6 月 11 日です。293 冊できあがりしました。

× × × ×

《会員の皆さんに》

今年、発足 15 年を迎えました。

「戦争放棄・憲法九条を守り抜き、平和な日本を子どもたちにしっかり手渡すために」と、全国で 7000 を超える「九条の会」ががんばってきたこの 16 年。無数の地域や職場や学園などに、多様な歴史を積み上げてきたことでしょう。

私たち「九条の会・摂津」も、8 万人ほどの小さな街で、ただ地道に小さな力を合わせてきました。闘い続けなければならない情勢が日本を世界をおおい、腹立たしいこと苦しいことが多すぎ、年を取るのも忘れて日々を歩んできました。そして、それを支え支援して下さった皆様の思いも同じだったと思います。

ご支援・ご協力本当にありがとうございました。この冊子は無料です。お目通しいただければ幸いです。